

発達段階について」「適応力」「虐待について」は男性が多く回答し、「基本的な生活習慣の定着」「子の自立心の育て方」は女性が多く回答しました。

### 【中学生期】

#### 項目別回答結果

24年は回答項目に「適応力」「性教育」「差別・いじめの防止」を追加し、「学習の必要はない」を削除しました。

20年と同じ項目で、24年の回答率を比較すると、多くの項目で回答割合が減少しています。

そのなかで、多感な時期に特に重要と思われる「子とのコミュニケーション」は大きく減少しました。

24年に追加した項目では「適応力」「差別・いじめの防止」が7%程度となりました。

男女別回答で大きく差があったのは、「家族に関する事について」「夫婦に関する事について」は男性が多く回答し、「基本的な生活習慣の定着」「社会的モラル」「忍耐力」「適応力」は女性が多く回答しました。

| 項 目          | アンケート年 |       |
|--------------|--------|-------|
|              | 20年    | 24年   |
| 子とのコミュニケーション | 14.0%  | 5.7%  |
| 基本的な生活習慣の定着  | 9.0%   | 10.6% |
| 社会的モラル       | 17.0%  | 14.2% |
| 子の自立心の育て方    | 11.7%  | 10.3% |
| 家族に関する事について  | 9.1%   | 6.4%  |
| 忍耐力          | 10.3%  | 7.8%  |
| 親としての生き方について | 7.5%   | 6.6%  |
| 子の発達段階について   | 4.6%   | 4.3%  |
| 自然体験の充実      | 4.2%   | 3.7%  |
| 虐待について       | 2.5%   | 3.0%  |
| 夫婦に関する事について  | 3.0%   | 3.9%  |
| 発達障害について     | 1.6%   | 3.4%  |
| 適応力          |        | 7.8%  |
| 性教育          |        | 4.4%  |
| 差別・いじめの防止    |        | 7.4%  |
| 学習の必要はない     | 0.3%   |       |
| 無回答          | 5.2%   | 0.6%  |

### 【高校生期】

#### 項目別回答結果

24年は回答項目に「適応力」「性教育」「差別・いじめの防止」を追加し、「学習の必要はない」を削除しました。

20年と同じ項目で、24年の回答率を比較すると「基本的な生活習慣の定着」が増加しました。

24年に追加した項目では「適応力」「性教育」がやや多く回答されています。

男女別回答で大きく差があったのは、「虐待について」「発達

| 項 目          | アンケート年 |       |
|--------------|--------|-------|
|              | 20年    | 24年   |
| 子とのコミュニケーション | 12.4%  | 4.5%  |
| 基本的な生活習慣の定着  | 8.5%   | 12.0% |
| 社会的モラル       | 21.6%  | 15.5% |
| 子の自立心の育て方    | 8.7%   | 8.0%  |
| 家族に関する事について  | 8.8%   | 8.8%  |
| 忍耐力          | 9.7%   | 5.5%  |
| 親としての生き方について | 9.8%   | 6.8%  |
| 子の発達段階について   | 2.7%   | 2.8%  |
| 自然体験の充実      | 2.3%   | 1.3%  |
| 虐待について       | 2.5%   | 3.0%  |

障害の理解」は男性が多く回答し、「親としての生き方について」は女性が多く回答しました。

| 項目          | アンケート年 |      |
|-------------|--------|------|
|             | 20年    | 24年  |
| 夫婦に関する事について | 3.8%   | 4.8% |
| 発達障害について    | 1.3%   | 3.3% |
| 適応力         |        | 8.8% |
| 性教育         |        | 8.3% |
| 差別・いじめの防止   |        | 6.3% |
| 学習の必要はない    | 0.5%   |      |
| 無回答         | 7.4%   | 0.3% |

【年代別比較】

子どもを育てるにあたって、親として大切な内容を各年代でまとめたものです。

「子どものコミュニケーション」は年代が高くなるほど急激に減少しています。

「基本的な生活習慣の定着」は高校生期になると若干回答率が上がりました。

「社会的モラル」については年代が高くなるほどやや緩やかに上昇しています。

「親としての生き方」「虐待について」「夫婦に関する事について」「発達障害について」は回答率が低いながら各年代で平均しています。

「子の自立心の育て方」「忍耐力」「差別・いじめの防止」の項目は中学生期で回答が多くなりました。

また、全年代で「忍耐力」の回答率が低くなりました。

年代期別回答結果

| 項目            | 年代期   |       |       |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|
|               | 乳幼児   | 小学生   | 中学生   | 高校生   |
| 子どものコミュニケーション | 24.0% | 10.5% | 5.7%  | 4.5%  |
| 基本的な生活習慣の定着   | 23.3% | 16.5% | 10.6% | 12.0% |
| 社会的モラル        | 3.6%  | 8.5%  | 14.2% | 15.5% |
| 子の自立心の育て方     | 5.1%  | 9.2%  | 10.3% | 8.0%  |
| 家族に関する事について   | 4.7%  | 6.8%  | 6.4%  | 8.8%  |
| 忍耐力           | 2.9%  | 5.7%  | 7.8%  | 5.5%  |
| 親としての生き方について  | 5.6%  | 6.6%  | 6.6%  | 6.8%  |
| 子の発達段階について    | 10.0% | 5.5%  | 4.3%  | 2.8%  |
| 自然体験の充実       | 6.4%  | 7.7%  | 3.7%  | 1.3%  |
| 虐待について        | 3.3%  | 3.4%  | 3.0%  | 3.0%  |
| 夫婦に関する事について   | 3.8%  | 3.5%  | 3.9%  | 4.8%  |
| 発達障害について      | 2.9%  | 3.4%  | 3.4%  | 3.3%  |
| 適応力           | 2.0%  | 4.0%  | 7.8%  | 8.8%  |
| 性教育           | 0.2%  | 2.0%  | 4.4%  | 8.3%  |
| 差別・いじめの防止     | 1.8%  | 6.2%  | 7.4%  | 6.3%  |
| 学習の必要はない      |       |       |       |       |
| その他・無回答       | 4.0%  | 0.5%  | 0.6%  | 0.3%  |

## グループやサークルの加入状況

問 30 『あなたは講座や教室以外で学習や運動をする時、グループやサークルに加入して活動していますか？』

項目別回答結果

グループやサークルの加入状況は15年からほぼ同じ数値で推移しています。

年代別では「加入している」と回答した割合が高いのは70歳以上であり、低かったのは40歳代でした。

20歳代で「加入している」と回答したのは26.7%であり、30歳代40歳代より回答割合が高くなりました。

| 項目      | アンケート年 |       |       |
|---------|--------|-------|-------|
|         | 15年    | 20年   | 24年   |
| 加入している  | 34.2%  | 26.6% | 26.3% |
| 加入していない | 65.8%  | 67.1% | 69.7% |
| 無回答     | 0.0%   | 6.2%  | 3.9%  |

問 31 『あなたが加入しているグループやサークルはどのような内容ですか？』

項目別回答結果

15年のアンケート調査と比較すると「趣味の会」が減少しています。同じアンケートの項目に「スポーツの会」がありますので、これはスポーツ以外のグループやサークルと考えます。

「スポーツの会」は15年と比較し加入率がかなり高くなってきました。これは近年の健康ブームが影響しているものと考えられます。

| 項目       | アンケート年 |       |       |
|----------|--------|-------|-------|
|          | 15年    | 20年   | 24年   |
| 趣味の会     | 29.3%  | 30.6% | 16.9% |
| スポーツの会   | 19.7%  | 28.8% | 32.5% |
| 各種講座グループ | 11.6%  | 11.3% | 13.3% |
| 老人クラブ    | 10.5%  | 9.4%  | 2.4%  |
| 婦人会・女性団体 | 10.2%  | 6.3%  | 6.0%  |
| ボランティア団体 | 9.7%   | 5.4%  | 3.6%  |
| 青年会      | 1.9%   | 2.7%  | 6.0%  |
| その他      | 7.0%   | 5.0%  | 8.4%  |
| 無回答      | 0.3%   | 0.5%  | 10.8% |

生涯学習課・公民館の「各種講座グループ」は緩やかに増加しています。

その他の特徴としては、「老人クラブ」「婦人会」「ボランティア団体」減少していますが地域団体は増加しました。

年代別の特徴としては、「スポーツの会」は20歳代30歳代が多く加入しています。「趣味の会」は60歳代70歳以上が多く加入しています。生涯学習課・公民館の「各種講座グループ」では幅広い年齢層が加入しています。

問 32 『あなたがグループやサークルに加入していない理由は何ですか？』

項目別回答結果

24年は、回答項目に「どのような団体があるかわからない」を追加し、「忙しくて」「付き合いが好きでない」「内容がつまらない」を削除しました。

この回答結果で特徴的なのは、「団体活動が嫌い」「費用がかかる」との回答が増加したことです。

個人を重視する現在の風潮が回答にも現れています。

また、新しい項目の「どのような団体があるかわからない」について、高い回答率となっており、情報発信の方法等を改めて見直さなければなりません。

| 項 目              | アンケート年 |       |       |
|------------------|--------|-------|-------|
|                  | 15年    | 20年   | 24年   |
| 忙しくて             | 26.3%  | 31.9% |       |
| 特に理由は無い          | 23.0%  | 24.2% | 20.4% |
| 適当な団体が無い         | 11.8%  | 10.2% | 12.2% |
| 必要を感じない          | 12.5%  | 9.8%  | 10.2% |
| 付き合いが好きでない       | 3.6%   | 4.8%  |       |
| 費用がかかる           | 7.1%   | 4.4%  | 8.5%  |
| 勧誘されなかった         | 3.8%   | 4.3%  | 4.2%  |
| 団体活動が嫌い          | 3.8%   | 2.9%  | 7.3%  |
| 家族が喜ばない          | 1.3%   | 1.5%  | 2.0%  |
| 内容がつまらない         | 2.0%   | 0.9%  |       |
| どのような団体があるかわからない |        |       | 24.9% |
| その他              | 3.1%   | 3.5%  | 6.5%  |
| 無回答              | 1.6%   | 1.5%  | 3.7%  |

## 知識・技能の活用

問 33『あなたが日常生活や仕事及び学習で習得された知識や技能は、今後どのような活用を考えていますか？』

20年とはアンケート項目が若干異なりますが、知識や技能の活用方法を確認しています。

20年と同じ項目の「個人的に楽しみたい」との回答は今回の調査では減少しています。

また、「教えたい」との回答は24年の調査で増加しています。

今後は、「考えていない」と回答した市民を、どのように「教えたい」という気持ちに変えていくのか検討する必要があります。

項目別回答結果

| 20年           |       |
|---------------|-------|
| 個人的に楽しみたい     | 37.4% |
| 仲間を増やし、高めたい   | 31.7% |
| 子どもたちや市民に教えたい | 13.7% |
| その他           | 3.7%  |
| 無回答           | 13.6% |

項目別回答結果

| 24年          |       |
|--------------|-------|
| 希望者がいるなら教えたい | 16.8% |
| 個人で自己研鑽したい   | 26.5% |
| 考えていない       | 51.3% |
| その他          | 0.9%  |
| 無回答          | 4.4%  |

## 生涯学習の環境づくり

問 34『あなたは五泉市の生涯学習を充実させ盛んにするには、どのような環境づくりが必要だと思いますか？』

項目別回答結果

「要望に応じた講座の開設」の回答率が20年のアンケート調査結果と比較し高くなっています。

生涯学習課では「きなせや楽習大学」などで様々な講座を展開しています。

しかし、市民のニーズは社会の複雑化などにより多岐にわたるようになりました。

今後は、それらのニーズとの調整が必要になってくると思

| 項 目            | アンケート年 |       |
|----------------|--------|-------|
|                | 20年    | 24年   |
| 情報取得を容易に       | 14.2%  | 10.4% |
| 要望に応じた講座の開設    | 10.7%  | 19.7% |
| スペシャリストを招いた催し物 | 10.1%  | 8.9%  |
| 地域の集会場の利用      | 9.6%   | 5.5%  |
| 開催日時の工夫        | 8.7%   | 16.9% |
| 施設利用手続き簡素化     | 8.2%   | 6.2%  |
| 文化施設の整備        | 6.1%   | 5.3%  |
| スポーツ施設の整備      | 5.7%   | 4.6%  |
| 各種相談を気軽に       | 5.7%   | 4.6%  |

います。

また、「開催日時の工夫」との回答が20年のアンケート調査結果の2倍となりました。

これは、社会構造の複雑化より就労形態も多岐にわたるため、これまでの画一化した講座開催の時間設定では、受講できる市民が限られてくることも心配されます。

現在、生涯学習講座を受講している年代を見ても60歳代以上が多く、余暇のある年代の市民参加が多く見られます。

今後は生産年齢層をどのように生涯学習講座に参加させるか、難しい課題に対応しなければなりません。

| 項 目        | アンケート年 |      |
|------------|--------|------|
|            | 20年    | 24年  |
| 学校施設の利用    | 5.3%   | 4.7% |
| 指導者等の育成    | 4.8%   | 4.4% |
| 団体・グループの育成 | 3.4%   | 3.6% |
| 発表会や大会を開催  | 2.9%   | 2.0% |
| その他        | 0.6%   | 0.7% |
| 無回答        | 4.0%   | 2.6% |



五泉市生涯学習基本構想・基本計画  
後期計画(平成25年3月)

---



【平成25年4月発行】

五泉市教育委員会 生涯学習課

〒959-1862 五泉市旭町7番11号 五泉市総合会館内

TEL 0250-42-5195 FAX 0250-43-4190

E-mail : [s-gakusyuu@city.gosen.lg.jp](mailto:s-gakusyuu@city.gosen.lg.jp)